



2023年2月10日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
代表者名 代表執行役会長 CEO スコット キャロン
(コード番号 6740 東証プライム)
問合せ先 代表執行役 CFO 大河内 聡人
(TEL. 03-6732-8100)

営業外費用の計上並びに（開示事項の経過）特別利益及び特別損失の計上のお知らせ

当社は、2023年3月期第3四半期会計期間（2022年10月1日～2022年12月31日）において、営業外費用（為替差損）、特別利益（関係会社株式売却益）及び特別損失（事業構造改善費用及び減損損失）を計上いたしましたので、お知らせいたします。

1. 為替差損の計上

為替相場の変動により、当第3四半期連結決算において、為替差損 1,611 百万円を営業外費用に計上いたしました。本為替差損は、外貨建て収益・費用の計上時と決済時の為替レート差から生じた他、期末日時点で当社グループの保有する外貨建て資産・負債を同日の為替レートで換算したことにより発生したものであります。

2. 関係会社株式売却益の計上

2022年12月30日付「（開示事項の経過）連結子会社株式の譲渡完了並びに特別利益及び特別損失計上のお知らせ」のとおり、当社は、連結子会社であった中国の製造会社 Suzhou JDI Electronics Inc. の全株式の譲渡を2022年12月30日付で完了いたしました。これに伴い、関係会社株式売却益を当第3四半期連結決算において 13,471 百万円、同個別決算において 15,995 百万円、それぞれ特別利益に計上いたしました。

なお、2022年12月30日時点では、約 148 億円の関係会社株式売却益計上を見込んでおりましたが、当第3四半期決算の過程で改めて精査した結果、金額に変更が生じております。

3. 事業構造改善費用の計上

2022年5月10日付「東浦工場におけるパネル生産終了のお知らせ」にてお知らせいたしました当社東浦工場（愛知県知多郡）の生産終了（2023年3月予定）に係る見込費用 1,623 百万円を事業構造改善費用として特別損失に計上いたしました。当該見込費用を主な要因として、当3四半期個別決算において、事業構造改善費用 1,718 百万円を特別損失として計上しております。これに加えて、上記「2. 関係会社株式売却益の計上」に記載の連結子会社株式の譲渡に伴い、事業構造改善費用 3,555 百万円を特別損失に計上いたしました。これらにより、当第3四半期連結決算において、事業構造改善費用 5,273 百万円を特別損失として計上しております。

なお、2022年12月30日時点では、上記連結子会社株式譲渡に係る事業構造改善費用として約35億円の計上を見込んでおりましたが、当第3四半期決算の過程で改めて精査した結果、金額に変更が生じております。

4. 減損損失の計上

生産設備の一部につき「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、減損損失を当第3四半期連結決算及び個別決算において、それぞれ763百万円を特別損失に計上いたしました。

5. 業績に与える影響

上記の営業外費用、特別利益及び特別損失は、本日発表の「2023年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以 上